

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	放課後等デイサービス オールスター		公表日		2025年 5月 13日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6		<ul style="list-style-type: none"> 他事業所に比べると広いと思う ドッジボール等、ボール競技もスムーズに出来る、十分な広さがある 学習する所、おやつを食べる所等、決めたことによって注意しやすくなった 	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5	1	<ul style="list-style-type: none"> 動の部屋と静の部屋のこどもの人数をスタッフが確認して、声かけをしている 基準人員プラスこどもの人数でシフトを作成している 基準配置を意識して動いている 	<ul style="list-style-type: none"> 送迎の関係で施設に児童が6～7人いるのに対し、スタッフが1人になることがある →6～7人の送迎に対してはスタッフ2名(車2台)で対応できるようにする →送迎時にどうしてもスタッフ1人で対応せざるをえない時は、事業所に到着後、他のスタッフに声をかけて手伝ってもらおうようにする
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6		<ul style="list-style-type: none"> 静の部屋、動の部屋、食事場所を分けている 貼り紙をしたり、決まりを決めたりして対応している 段差のない環境が整っている 	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	4	2	<ul style="list-style-type: none"> こどもたちと共に掃除を行っている 静と動の活動空間がある 	<ul style="list-style-type: none"> きれいな時ときたない時の差があるように感じる 静の部屋がきたない。まだまだ工夫しなければならない 掃除が行き届いていないことが多いと思う →清掃や整理整頓を仕切る職員を2名決め、この2名が主体になって他のスタッフにも清掃箇所の周知をしていく ・動活動の時の声が響く
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	1	<ul style="list-style-type: none"> 適宜、個室を使用している(話し合いや勉強で個別利用が必要な時) 児童は相談室や静養室を必要に応じて利用できていると感じる 児童の来所持、疲れている時は声かけをして、静養室で休ませている 	<ul style="list-style-type: none"> 個別の部屋は1つしかないので、少ないと感じる
6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	6		<ul style="list-style-type: none"> 新しい評価シートを作成し使い始めた 日案等でこどもたちの様子を日々書いて伝えている 支援ミーティングや、日々の朝礼と終礼を行っている 毎日児童のことで気になったことを、職員間で共有している 		

業務改善	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		<ul style="list-style-type: none"> ・アンケートで集計し、職員間で共有し話し合っている ・ミーティング等の場で、スタッフが保護者からの意見を伝えている ・送迎の際保護者から言われたことを、その日のうちに職員間で共有している 	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		<ul style="list-style-type: none"> ・月2回のミーティングや、毎日の朝礼、終礼で話す機会を設けている 	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	4	<ul style="list-style-type: none"> ・具体的にはないが、音楽会などの第三者評価などで、良い評価をいただくことはある ・評価は行っていないが、挨拶廻り等で、近隣住民の迷惑にならないよう努めている 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校等からの評価表はない ・第三者の配置はしているが、実際の評価は現在なし ・今まで第三者に外部評価をしてもらったような事例がなく、また新しく入ってきたスタッフなどは、第三者を認知できていない場合があった →スタッフ全員に再度周知したので、今後何かあった場合は第三者につなげることができる
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6		<ul style="list-style-type: none"> ・外部や内部の研修を必要に応じて行っている ・ミーティングで研修を行って、報告書も書いている ・研修は年に何度かできている 	
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6		<ul style="list-style-type: none"> ・支援計画を半年に1回作成している ・全ての職員の意見を取り入れている ・ホームページ等にアップしている ・支援員からの聞き取りで、どんな支援が必要なのかをまとめて公表している ・計画書が作られ、プログラム説明もしている ・モニタリングの際等、児童の情報の共有がある 	
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6		<ul style="list-style-type: none"> ・見学時に得た情報により計画を作成し、その後保護者からの評価を基に定期的に改定している ・保護者と面談をしたり、子どもたちに必要な支援をミーティングで話し合っている ・「これはできた」「これはまだ課題」と分析し、スタッフ間で共有できている ・児童、学校、保護者等なにかあった際は情報を共有している 	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6		<ul style="list-style-type: none"> ・毎月支援ミーティングで共有し、ベストな支援方法を考えている ・支援ミーティング等で子どもたちの事を話し合い、共通理解が出来ている ・職員全体の意見を聞いて、児発管が計画を作成している 	

14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6		<ul style="list-style-type: none"> ・日案でそれぞれの課題を見て、日々の支援を行っている ・個別ファイルに共有されて、それに沿って支援をしている ・LINEなどの連絡ツールを活用して共有している ・5領域やインクルージョンを念頭に支援している 	
15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	1	<ul style="list-style-type: none"> ・児発管、管理者主体で行っている ・日案などに記入している ・幅広い視点を心がけている ・5領域に沿った評価シートを用いてアセスメントを行っている ・スタッフ間で、その日集中して支援する児童を決めて見守り、確認している 	・フォーマルなアセスメントを用いているかはわからない
16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5	1	<ul style="list-style-type: none"> ・音楽会を実施するなどしている ・それぞれの状態に合わせて、意見を集約している ・聞き取り用紙や口頭等で情報を集め、児発管が計画を作っている 	・「本人支援」「家族支援」「移行支援」等は学校、保護者、事業所で集まり話し合いが行われているが、「地域支援・地域連携」は今のところない
17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6		<ul style="list-style-type: none"> ・ミーティングで皆で提案し合い話し合い、1ヶ月の活動内容を決めている 	
18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6		<ul style="list-style-type: none"> ・同じ活動プログラムは曜日をずらしたり、新たな活動プログラムを取り入れるなどして工夫している ・机上のゲームや運動項目が両方できるよう、工夫している ・全体ミーティングで話し合っている 	
19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6		<ul style="list-style-type: none"> ・必要に応じて対面支援を行っている。なるべく集団活動を促している ・集団活動になかなか自分から入らない児童へは、声かけして1回だけでも参加させるようにしている ・静活動と動活動を適宜実施している ・自発性を大切に支援を行っている 	
20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6		<ul style="list-style-type: none"> ・毎日朝礼で行っている ・シフトの関係で遅く出勤する時は、朝礼で話し合われた内容について出勤時に報告を受けている 	
21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6		<ul style="list-style-type: none"> ・毎日終礼で行っている ・密に行っている。休みの日は後日、当日の出勤者に聞いて情報を得ている ・早く退社する時は、後に管理者から報告を受けている 	
22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6		<ul style="list-style-type: none"> ・毎日、日案に記入している ・日案、または個人的にノートに記入している 	

	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6		<ul style="list-style-type: none"> ・LINEにて実施している ・児発管が定期的に行っている ・スタッフがそれぞれ感じたことを話し合っ、見直しが適宜行われている ・最近の様子等、意見を出し合っている 	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせずて支援を行っているか。	6		<ul style="list-style-type: none"> ・児童の自立支援、多様な遊びや体験、地域交流、主体性の4つを意識して支援している ・地域交流も2024年から増やしている ・野外活動や音楽活動等、月によって何をするか決めている ・地域交流が活発になってきた（音楽会など） 	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6		<ul style="list-style-type: none"> ・児童の主体性を尊重して支援している ・来所したら、自分でしたい活動をスケジュールに書いて活動するよう支援している ・こどもが意見を述べられるよう促す支援、手助けをしている 	
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6		<ul style="list-style-type: none"> ・1人のスタッフに偏らず、参加できている ・会議がある前に、スタッフ全員で話し合っている ・会議には関係者（学校・相談支援・事業所所員など）各位来られている 	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6		<ul style="list-style-type: none"> ・契約時に主治医の確認と、保険証のコピーを取っている（※マイナ保険証になる以前） ・ガイドラインも準備している ・意識している。必要に応じて情報をやり取りしている ・学校や違う事業所等が集まり、会議を開いている 	
関係機関や保護者との	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6		<ul style="list-style-type: none"> ・担任の先生等、連絡を互いに取り合っている ・学校からの手紙や電話等で直接聞いて、連絡を取り合っている 	・出来ている場合もあるが、もっと密に行う必要があるとも感じている
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5	1	<ul style="list-style-type: none"> ・必ず情報交換は行っている ・必要に応じて情報を提供していただいている ・入所してくる前に情報を聞いて、スタッフ間でも共有している 	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5	1	<ul style="list-style-type: none"> ・過去の例を見ても、行われている ・情報提供している 	<ul style="list-style-type: none"> ・案は出ているが具体的に動いていない。今後取り組む ・事例がないが、そのようなことになる場合きちんと情報提供する
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	5	1	<ul style="list-style-type: none"> ・支援の研修は受けるようにしている ・案内をしている 	

連携	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会があるか。	6		<ul style="list-style-type: none"> ・長期の休みに学童や児童館、他所の放課後等デイサービスの児童と交流することが増えた ・2024年になって、機会が増えた ・公園に行った際、交流がある ・体育館での交流、音楽会など 	
	33	(自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか。	5	1	<ul style="list-style-type: none"> ・参加している ・初めて参加した。今後も続けていきたい ・参加している職員から、協議内容を伝えてもらっている 	
	34	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6		<ul style="list-style-type: none"> ・保護者の方には、その日あったことを伝えている ・児童の送迎時などに実施 ・送迎時の他、電話や連絡帳を利用して伝え合っている 	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	2	<ul style="list-style-type: none"> ・情報提供や助言等している 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後具体的に実施の予定 ・モニタリングや会議、支援計画更新時以外で機会を設けなければならぬと感じる ・保護者参加のプログラムはあるが、研修のような空間はないので、これから取り組むべきかなと思う
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6		<ul style="list-style-type: none"> ・契約時や、その都度必要な時に説明している ・見学対応時には内容を丁寧に伝えるよう心がけている ・管理者が行っている 	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6		<ul style="list-style-type: none"> ・送迎時や電話・LINE対応で出た意見等を共有し、改善している ・保護者との面談で話し合いが行われている ・定期的にモニタリングを設け、そこで出た家族の意見をスタッフに共有している ・常に子どもや保護者の意思を尊重し、子どもの将来を見据えている 	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6		<ul style="list-style-type: none"> ・児発管や管理者が行って、保護者の同意を得ている ・モニタリングや支援計画更新時等に同意を得ている 	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6		<ul style="list-style-type: none"> ・必要であれば面談をし、自分なりに答えることができる ・送迎時にお伝えしたり、電話でのやり取りを行ったりしている 	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	6		<ul style="list-style-type: none"> ・バザーを開催する予定 ・音楽会など開催 ・開催頻度は年2回くらい ・頻度は少ないが、長期休みを通して支援している。 ・保護者が集まって、他の保護者同士の交流ができる場は設けている 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的に行えるように工夫したい
41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6		<ul style="list-style-type: none"> ・苦情があった際はミーティング等を利用して、職員間で情報共有して改善につなげている ・その都度スタッフで話し合い、丁寧に保護者に伝え対応している 		

	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	5	1	<ul style="list-style-type: none"> ・LINEを活用 ・2025年2月からInstagramを利用した発信をスタートした 	<ul style="list-style-type: none"> ・LINEは活用しているが、他のSNS運用はあまり見ない
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6		<ul style="list-style-type: none"> ・写真や動画をアップする時は、確認するよう意識している ・子どもの名前が入った個人情報の書類は、廃棄時にシュレッダーにかけている ・個人情報は流出しないよう、スタッフ間内だけに収めている ・撮影は許可をとって行っている 	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6		<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの特性、保護者の特性に合わせて、伝え方を工夫している ・子どもや保護者の気持ちをくみ取るよう努めている ・絵カードなどを使用している ・プライバシーに配慮しつつ、情報伝達を行っている 	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	2	<ul style="list-style-type: none"> ・音楽プログラム等を開催 	<ul style="list-style-type: none"> ・招待するような行事はまだ少ない →今後計画していく ・行事の告知が遅い時があった →計画を早めに立てて、早めに告知していく
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	1	<ul style="list-style-type: none"> ・半年に1度のペースで、定期的を実施している ・感染症の研修を受けたり、スタッフで話し合い連携は取れていると思う ・訓練後にどんな内容だったか等、LINEで周知した 	<ul style="list-style-type: none"> ・感染症、消防訓練、虐待防止については行っているが、緊急時や防犯については話し合う機会が少ないと感じる
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6		<ul style="list-style-type: none"> ・消防訓練を半年に1度のペースで、定期的に行っている ・障がい者福祉のeラーニングの利用を開始したため、活用する ・BCPはファイリングされている 	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	6		<ul style="list-style-type: none"> ・書類の提出は必須にしている ・保護者からの聴取で確認をとっている ・個人調査表で確認して、スタッフで情報交換も出来ている ・見学时や契約時に確認している ・アセスメント、支援計画などで確認している 	<ul style="list-style-type: none"> ・予防接種に関しては聴取不足と感じる
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6		<ul style="list-style-type: none"> ・保護者に確認をとり、対応している ・個人調査表で確認して、スタッフで情報交換も出来ている ・アセスメント、支援計画などに記載している ・アレルギー食材は確認済み 	<ul style="list-style-type: none"> ・現在アレルギーのある子どもはいないが、いた場合はそのように対応する
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5	1	<ul style="list-style-type: none"> ・計画し訓練し、安全管理がされた中で支援できている ・非常時の訓練計画に沿って実施している 	<ul style="list-style-type: none"> ・スタッフ全員への周知はもう一步と感じる →スタッフ間で再度周知・共有する ・地震時の対応については正直わからない

51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6		<ul style="list-style-type: none"> ・遊具の点検を行っている ・情報を共有し、家族へ周知している ・内服状況や身体状況を常に共有している 	・家族等への周知は弱いところがある
52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6		<ul style="list-style-type: none"> ・ミーティング等で検討している ・その都度用紙に記入している ・何か起こった時には共有し、用紙に記入し、振り返り反省するようにしている 	・共有し、再発防止に向けた方策は話し合っているが、スタッフの人数が少ない時に、目が行き届いていないことがある
53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6		<ul style="list-style-type: none"> ・資料を見て行っている ・ミーティングで虐待防止研修を開いて、スタッフで協議している ・年に2度研修を行っている 	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6		<ul style="list-style-type: none"> ・契約時に説明し、同意を得ている ・適宜、了解を得ている 	